

月刊 サンエスウォッチング Vol.15

～ Dixna リブラペダル開発ストーリー ～

【 “裏返らない” 「天秤座」 ペダルの開発 】



フットプリントペダル

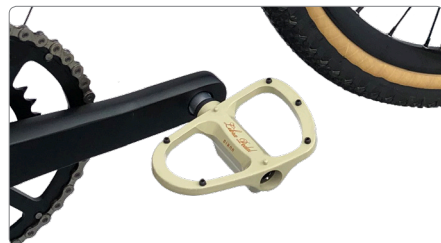
Dixna (ディズナ) ブランドのペダルに、足裏をイメージした踏み面の「フットプリント」シリーズがあります。2008 年、この形状を継承しながら、片面踏みで必ず踏み面が上を向き裏返らない上質なシティーバイク向けのペダルを作れないかと考えました。その他の開発テーマは・・・" 安定した気持ちの良い足裏感触を得られること " " 滑らかな回転を保持すること " " 片側を 200g 以内に抑えること " でした。

2 年の歳月をかけ完成したその名も「Libra Pedal」リブラ (天秤座) ペダル。

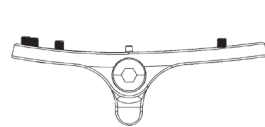
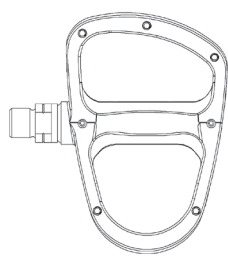
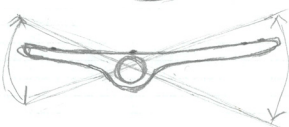
接地面は広くシンプルでシューズに沿ったアールを設け、シャフトの下にセットした重りの支点によって天秤のようにスイングし上を向きます。

17g の重りに 5g のキャップと約 168g のボディー、片側約 190g 程度の天秤ペダルが出来上がりました。

手で簡単にボディーを外すことができる QRD システムのモデルも同時に発売しました。多くの要望から 2018 年には手作業のハイポリッシュシルバーも登場。自転車に装着すると、重り部分が隠れるため非常に薄く見えます。現在リブラペダルはディズナの中でも人気のペダルとなっています。



17g の重りが天秤機能の支点役となります。重りの挿入箇所はシャフトの真下で且つ幅がボディーより狭いため、自転車に装着されていると殆ど見えすっきりしています。



左は最初のデッサンです。30 度以内のスイング角度で絶対に裏返らないことを最重要ポイントとしていました。

真ん中の最終図面ではボディーと重り重量及び支点位置それぞれの配分を入念に計算し設計。前後に 5 つのネジピン (3mm) を配置。現物サンプルで最終調整し右のように完成しました。足裏に沿ったアールと大きめのフットプリントデザインで使用感も快適です。

VIVA ～自転車万歳！！～ (連載コラム：全 12 回)

【第 1 回】 今号より 12 回に渡りミニコラムを連載します。

1964 年の東京オリンピック前、第 2 次サイクリングブームでの日本に於けるスポーツ自転車は、旅行向けのランドナー・スポルティーフ・キャンプ車 が主流でした。そんな旅自転車向けのカスタムパーツ & アクセサリーが国内に少なかった当時、サイクリストからの要望を叶えるべく 1974 年にスタート したのが「VIVA」でした。自社開発製品のブランド名とした VIVA (ビバ) はラテン語系で「万歳」や「生きろ」と言った意味を持ちます。

サンエスオリジナルブランド第 1 号となった VIVA は「自転車万歳！」との思いを込めてスタート したのです。このコーナーでは、VIVA 製品のストーリーを写真などと共にお送りしていきます。

まず最初に開発したのは、ツーリング時欠かせなかった「フロントキャリア」でした・・・(つづく)



社員と製作所スタッフが旅自転車で乗り関東近郊でのサイクリングを楽しみながら、色んな要望をもとに製品を生み出していきました。



当時のバイブル誌「ニューサイクリング」1977 年 3 月号 Vol17 No.148 広告ページ。「サイクリスト本意の製品を 続々と開発中！」と、意気込みが伝わります。



1977 年頃「東京国際見本市」に出展したブース。当時既に人気となっていた VIVA 製品を展示、壁面の VIVA 文字は VIVA ベルで描かれています。